

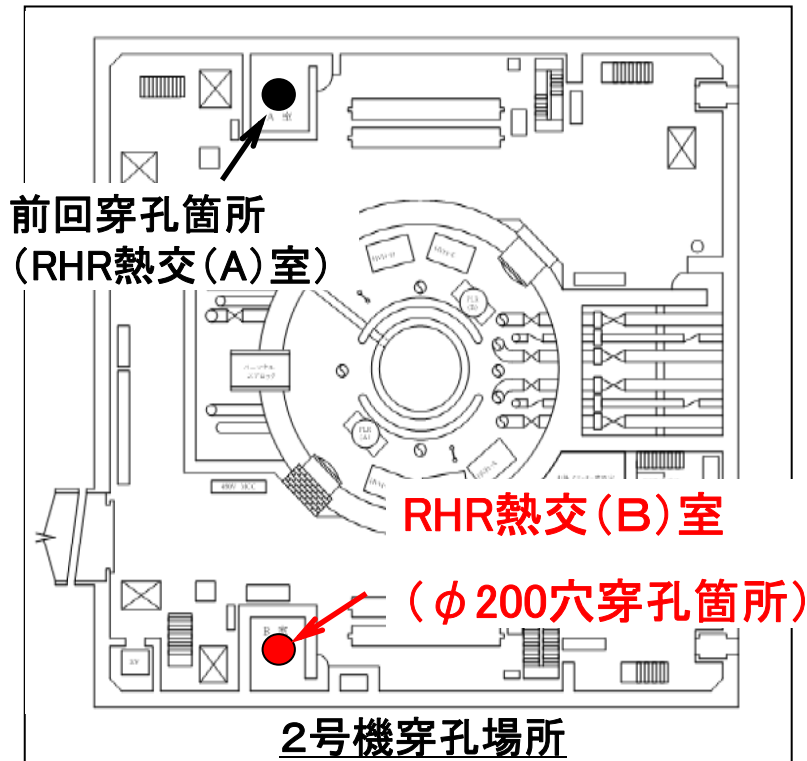
2号機トーラス室調査結果について

2013年4月25日
東京電力株式会社

1. 調査方法(温度・線量・カメラ)

1

原子炉建屋1階南側RHR熱交(B)室床面にあけた $\phi 200$ の孔より、温度計・線量計・カメラを挿入しトーラス室内の調査を実施した。



調査実施日

H25. 4. 11

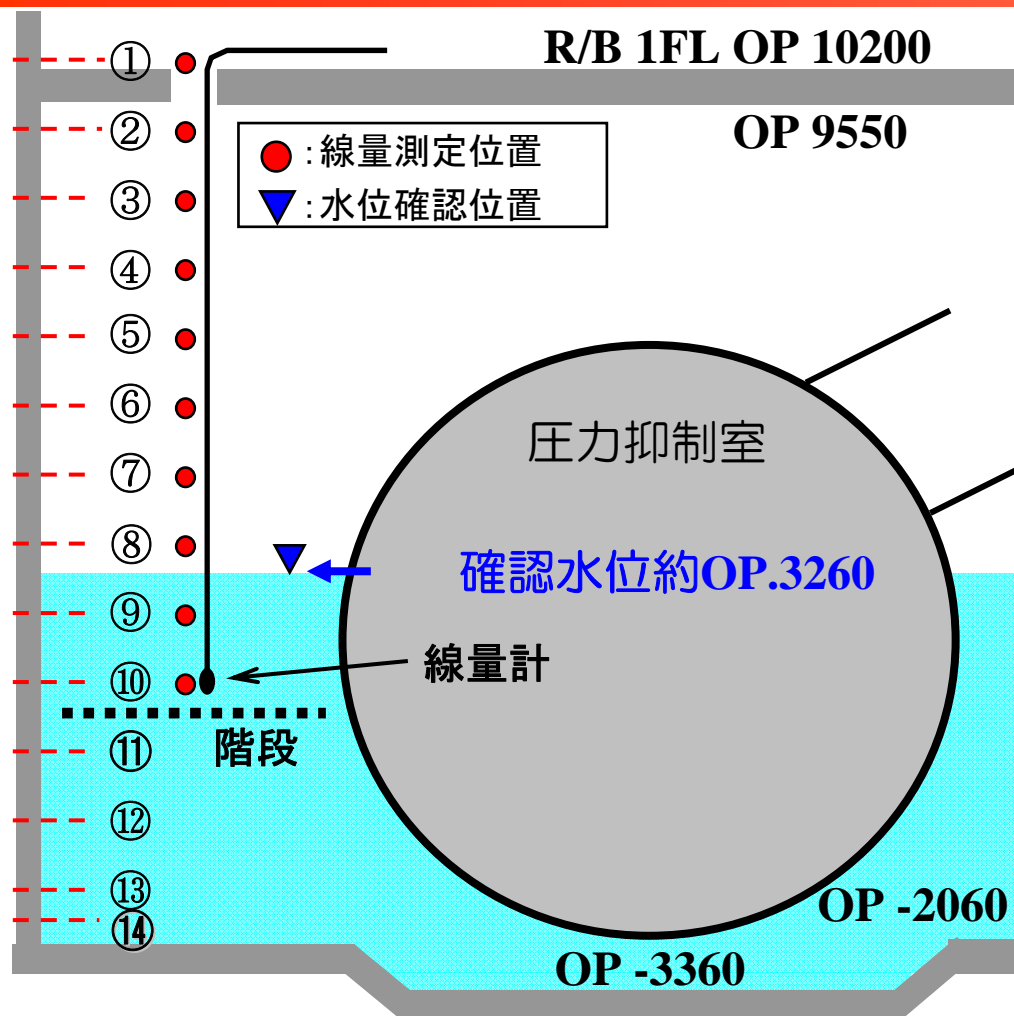
調査実施項目

線量測定(雰囲気・滞留水)

温度測定(雰囲気・滞留水)

画像取得(トーラス室内)

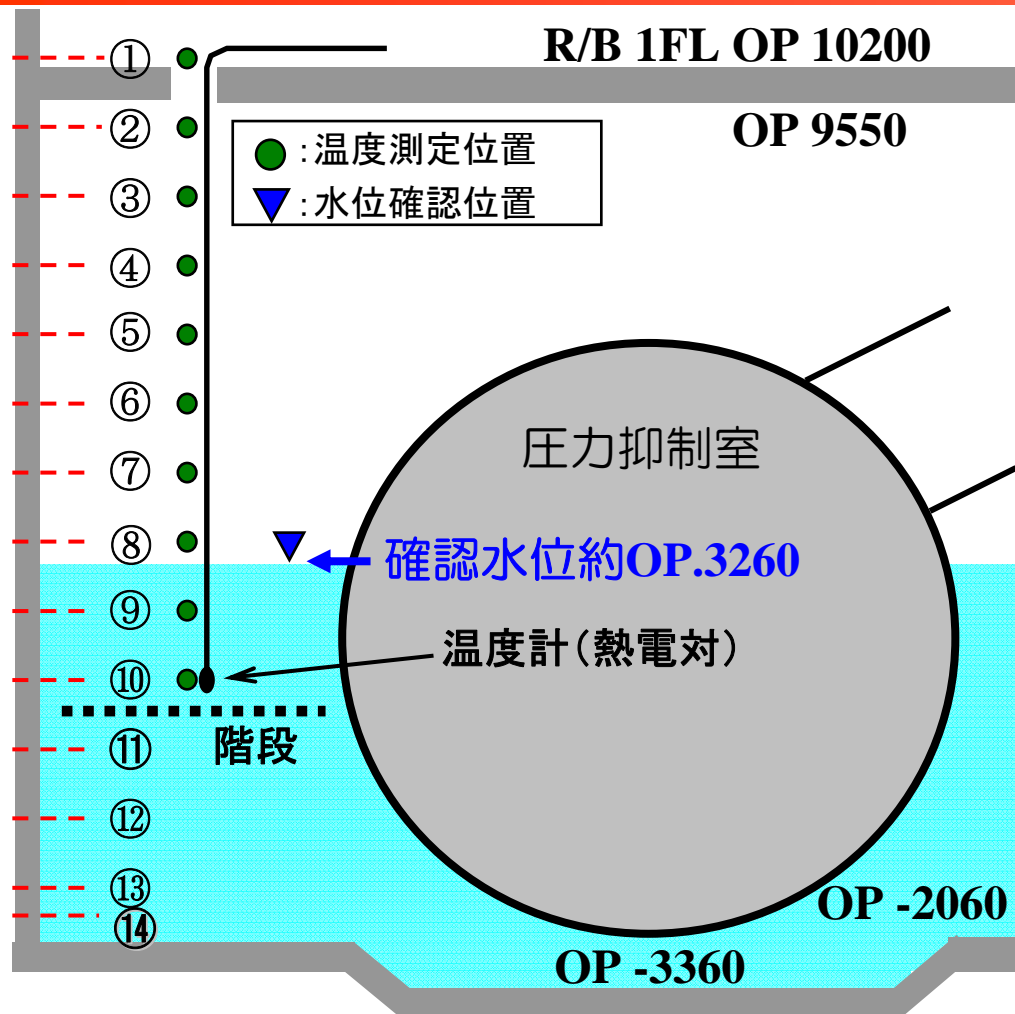
2. 測定結果(線量)



	位置(参考値)	線量【mSv/h】
①	OP.10500	4.3
②	OP.9500	6.2
③	OP.8500	10.3
④	OP.7500	15.3
⑤	OP.6500	20.5
⑥	OP.5500	32.8
⑦	OP.4500	74.0
⑧	OP.3500	【最大】134.0
—	水位OP.3260	—
⑨	OP.2500	18.7
⑩	OP.2000	23.7
⑪	OP.500	—
⑫	OP.-500	—
⑬	OP.-1500	—
⑭	OP.-1760	—

- ・約1m毎の線量を測定
- ・最大線量は、水面付近の約134mSv/hであった。

3. 測定結果(温度)



位置(参考値)		温度[°C]
①	OP.10500	16.3
②	OP.9500	18.1
③	OP.8500	19.6
④	OP.7500	20.4
⑤	OP.6500	20.4
⑥	OP.5500	20.7
⑦	OP.4500	20.6
⑧	OP.3500	20.1
—	水位OP.3260	—
⑨	OP.2500	25.2
⑩	OP.2000	25.2
⑪	OP.500	—
⑫	OP.-500	—
⑬	OP.-1500	—
⑭	OP.-1760	—

- ・ 約1 m毎の温度を測定
- ・ 気中温度は約20°C, 水中温度は約25°C程度であった。

4. カメラ画像結果

○滞留水水位

約OP.3260（深さ：約5.3m）であることを確認。

○滞留水透明度

約100cm以上の透明度であることを確認。

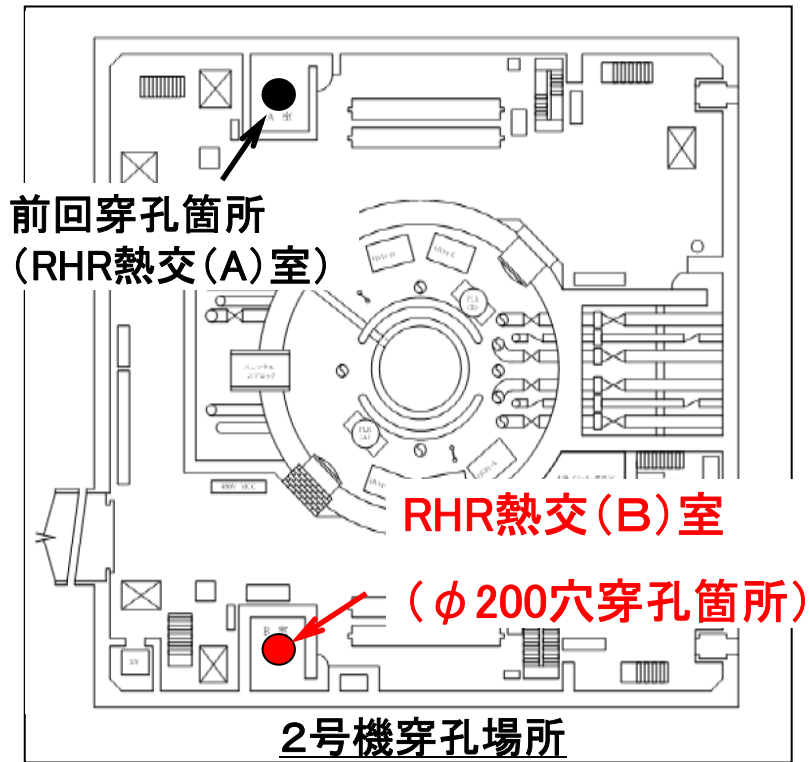
○トラス室内構造物について

画像から確認できる範囲では、さび等は確認されたものの、**構造物に大きな破損は確認されなかった。**詳細評価は今後実施。

なお、水面下約1.5mでトラス室階段と干渉したため、**底部の撮影はできなかった。**

5. 調査方法(滞留水・堆積物採取)

床面φ200の孔より、滞留水採水用ホース・堆積物採取装置を挿入し採取した。

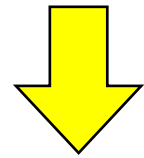


調査実施日
H25. 4. 12

調査実施項目
滞留水採取
底部堆積物採取

6. 採取状況(滞留水)

	採取位置	採取量
当初計画	水面下約1 m	約250 c c
	トーラス室底面上約1 m	約250 c c



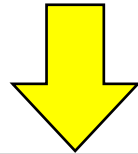
トーラス室階段と干渉のため、採取位置の見直し

	採取位置	採取量	容器表面線量
実績	水面下約1 m	約500 c c	約0.1mSv/h

分析予定項目	導電率, pH, 塩素イオン濃度, Sr 89/90濃度, トリチウム濃度, $\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$ 核種濃度
--------	--

7. 採取状況(堆積物)

	採取位置	採取量
当初計画	トーラス室底部	微量(数cc)



トーラス室階段と干渉のため、採取位置の見直し

	採取位置	採取量	容器表面線量	分析予定項目
実績	トーラス室階段 踊り場上面 (約OP.1700)	約5cc	約0.1mSv/h	γ核種分析



堆積物回収器

技術協力
(株)アトックス殿
中部電力(株)殿



作業風景